

帷子川河川環境整備計画（案）に関する 市民意見募集の実施結果について

帷子川の河川水辺空間を保全・創出し、地域の誇りとなる川づくりなどを進めるための計画となる「帷子川河川環境整備計画」の策定にあたり、市民意見募集を実施しました。

多くの市民の皆様から、本市河川水辺環境整備事業に関する貴重なご意見・ご提案をいただき、誠にありがとうございました。

このたび、市民意見募集の実施結果といただいたご意見に対する本市の考え方をまとめましたので、公表いたします。

1 実施概要

実施期間	令和8年5月1日から令和8年5月15日まで
意見の提出方法	オンラインフォーム、電子メール、郵送
素案の公表場所	下水道河川局河川流域調整課（市庁舎21階）、市民情報センター（市庁舎3階）、本市ウェブサイト（以下URL）で閲覧 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasen/gesuido/kasen/shoukai/kasennokankyoseibi.html

2 実施結果

意見分類	意見数
計画内容に関するご意見	46件（51%）
財政ビジョン、税金に関するご意見	31件（35%）
意見募集期間に関するご意見	12件（13%）
その他	1件（1%）
計	90件（100%）

3 いただいたご意見への対応状況

分類	対応状況	意見数
反映	ご意見の趣旨を踏まえ、計画に反映したもの	11件（12%）
賛同	計画に対して、賛同・評価をいただいたもの	5件（6%）
参考	事業費や管理等に対するご意見等で参考とするもの	61件（68%）
その他	計画内容以外の質問等	13件（14%）
計		90件（100%）

- ・皆様から頂いたご意見の概要と意見に対する本市の考え方については別紙のとおりです。
- ・別紙では、いただいたご意見の概要とその対応区分及び本市の考え方について、ご意見の分類ごとに掲載しています。また、ご意見は内容により分割して掲載しています。

いただいた意見の概要と意見に対する本市の考え方

■対応区分：反映

NO.	意見の概要	本市の考え方
1	計画は良いただ、生物に配慮し、水に近づけ、地域交流の場となる広場の整備など、本当に全てを満足できるのか疑問 また、それぞれの分野の有識者の意見は聞いているのか？聞いているなら聞くべき	複数名の有識者の意見を聞いて計画の策定を行っています。 さらには、市民の皆様の憩いの場となるようにワークショップや自治会の定例会にて意見を集約しています。
2	図 3.8 において、ワークショップ意見「魚の放流」と、「広い河道幅となることから緩傾斜河岸など親水性を考慮する」が関連付けられているが、その関係性が読み取りにくい。どのような検討過程を経て整備方針へ反映されたのか、説明を追記してほしい。	魚の放流イベントを開催する際には、水際まで近づけるような整備の工夫が必要であることから、広い河道幅が必要となることを考慮するために記載しています。
3	二俣川合流点の拠点については施設設定の「低水路を歩ける河岸・広場」と線がつながてあるが、これも同じである。「魚の放流」が施設整備案へどのように反映されたのか不明確である。放流推進を意味するのか、生物環境改善への期待を示したものなのかを整理し、明瞭な表現にしてほしい。	魚の放流イベントを開催する際には、水際まで近づけるような整備の工夫が必要であることから、広い河道幅が必要となることを考慮するために記載しています。
4	小学生ワークショップは良い取組みだと思う。ただ、意見と施設整備案の対応関係を見ると、河川整備方針が先行して設定され、その後ワークショップ意見を対応付けたようにも読み取れる。ワークショップ意見がどのように整備方針へ反映されたのか、検討プロセスが分かるよう記載をより一層充実してほしい。	P41 の策定フローにも記載のとおり、小学生とのワークショップを経てコンセプトを決定いたしました。
5	P2 1. 背景「ネイチャーポジティブ」と言われてもお年寄りには理解できないと思う。別の言葉を使うか、簡単な説明を添えてはどうか。	自然の損失を食い止め、回復軌道に乗せるだけでなく、自然を維持するだけでなく積極的に再生させる考え方。の注釈を入れました。
6	P5 (2) 概要 表 1.1 「諸元」という言葉は馴染みがなく分かりづらい。「データ」や「概要」の方が伝わりやすいと思う。	項目の題名と合わせたほうが理解しやすいと考え、帷子川の概要に修正しました。

7	図 2.4「魚道の整備状況」について、過年度資料を基に作成された図表が含まれているように見受けられるが、現時点の整備状況との関係が読み取りにくい。特に、過去時点の計画値・整備状況なのか、現時点でも有効な内容なのか判断しづらいため、市民が現況を正確に理解しにくい構成となっている。そのため、最新時点の情報へ更新する、または「〇年度時点の情報」であることを図中等に明記するなど、図表の位置づけを分かりやすく整理してほしい。	いただいた意見を参考に、アユが遡上する帷子川アクションプランの資料であり、図に平成 27 年時点の情報を追記しました。
8	6. (1)「区間の設定」では区間設定の考え方が示されている一方、各区間が具体的にどこからどこまでを指すのかが分かりにくい。 図 3.4 の桃色の地点間が各区間に対応しているようにも見えるが、その関係性が明示されておらず、区間設定の内容を正確に読み取りにくい。また、「鶴峰橋」など本文中で用いられる橋の名称についても、位置が分かる図示が不足している。そのため、各区間の始終点を明示した図面を追加する、または既存図面に区間番号・橋梁名・対応関係を明記するなど、計画構成を理解しやすい表現に修正してほしい。 帷子川の近くに住んでいても、橋の名称までは覚えていない。図 3.6 では、少なくとも私には、どこが各区間なのかを読み取ることはできなかった。こちらも修正してほしい。図 3.4 について、各区間とイメージパースの対応関係が読み取りにくい。特に、どの整備イメージがどの区間を示しているのか直感的に把握しづらいため、引き出し線や区間番号の付記などにより、図とパースの対応関係を明確化してほしい。	いただいた意見を参考に、区間①「中堀川合流点～鶴峰橋上流」を「中堀川合流点～二俣川合流点」に修正し図 3.6 区間分けの設定と位置が一致するようにしました。 図 3.4 の各区間のイメージについては、各区間のイメージではなく帷子川河川環境整備のイメージを記載しており、各区間と結びつけるものではありません。
9	P25 (4) 神社・仏閣 「鶴ヶ峰稲荷神社」はこの字が正式なものなのか。インターネットで調べると「鶴ヶ峰」「鶴ヶ峯」となど色々な表記が出てくる。	鶴ヶ峯稲荷神社が正式名称のため、修正いたしました。

10	図 3.8 について、ワークショップ意見と整備方針・施設整備案との関係を示す接続線が複雑に交差しており、各意見がどのように計画へ反映されたのかを読み取りにくい。本図は、市民意見と整備方針との関係性を示す重要な図面であるため、交差の低減、関連項目のグループ化、凡例の整理等により、可読性を高めてほしい。また、ワークショップ意見の色分けについても意味が分かりにくいいため、色分けの趣旨を図中または凡例へ明記してほしい。	それぞれの拠点について、ワークショップの意見を反映し、イメージしやすいように断面イメージを記載しております。
11	P82 10. 計画に基づく整備スケジュール 降雨量の単位の「mm」がここだけ潰れている（半角になっている？）。理由がなければ表記を統一した方がよいと思う。	「mm」については、フォントを統一するように変更しました。

■対応区分：賛同

NO.	意見の概要	本市の考え方
1	横浜市には、瀬谷区のと泉川や栄区のとち川など魅力的な川が沢山ありますが、旭区には帷子川があるものの、魅力的とは思えず残念です。浸水に強くなる河川整備にあわせ、本計画にあるような様々な整備により魅力あふれる川になることを知り大いに期待しています。また、子どもたちの意見が反映された計画というのも素晴らしいと思います。計画にある川ができれば、旭区に住みたいと感じる人も増え、区の魅力も高まり、誇りになると思います。令和 27 年までの長い期間をかけた整備スケジュールのようなので、途中でやめることなく、1 日も早く着実に進めてください。	ご期待に沿い、市民生活の「質」の向上と環境との共生の実現に貢献できるよう、子どもを含む地域の意見の反映をはじめ基本方針に沿った様々な取組を進め、良好な河川水辺環境の保全・創出を図っていきます。
2	整備案に賛成です。鶴ヶ峰に住んでいるため、二俣川合流点拠点が整備されると、川に遊びに行ったり、川を眺めに行ったりする機会も増えそうです。ぜひ、こどもからお年寄りまで幅広い世代に愛される空間にしてください。	ご期待に沿えるよう、計画を着実に推進していきます。

3	【旭区在住】帷子川沿いに住む旭区民です。私の子供も、学校の課外授業として帷子川に行って、生物観測などを行っているようです。計画内容には特に意見等はありませんが、ぜひ「治水」「利水」「環境」バランスのよい整備を推進していただき、安全かつ生物環境の維持、川沿いを歩いて気持ちがいいと感じられる川にしていいただければと思っています。応援していますので、ぜひ頑張ってください！！	ご期待に沿えるよう、計画を着実に推進していきます。
4	パンフレット版を確認し、小学生の意見を取り入れるなど、工夫がみられてとても良い取組だと思います。長期にわたる整備計画のため、各拠点の整備前にイメージは更新していくと良いと思います。GREENxEXPO等も開催されて、自然に注目が集まる中、機運醸成にも繋がり良いと思います。	ご期待に沿えるよう、計画を着実に推進していきます。
5	環境と周辺住民に配慮した計画であり、とても良いと感じました。少し無茶をいうと、鮎だけでなくイワナやヤマメなど自然豊かな清流に生息する魚たちも住み着いてくれると嬉しいです。	いただいたご意見は、事業を進める上での参考とさせていただきます。

■対応区分：参考

NO.	意見の概要	本市の考え方
1	赤字を増やさないようにしてください。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。

2	赤字を増やすことは子どものためになりません 赤字を増やさないでください	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。
3	赤字を増殖させる行為はしないでください	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。
4	使う税金を減らして赤字を増やさないでください	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。
5	後付けでも「グリーンエキスポ」を付ければ税金使いたい放題になるのですか	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。

6	グリーンエキスポの名を使い税金を湯水のごとく使うのですか。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。
7	グリーンエキスポという単語を使えば財政のことは何も考えずに税金を使い綴ることができるのですか。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。
8	横浜市財政ビジョンについて何も書いていないのは、横浜市財政ビジョンを守らない断固たる強い意思表示ですか。	個別計画の中で横浜市財政ビジョンに関する記述は行っておりませんが、本市のすべての事業は、横浜市財政ビジョンに基づき、財政規律を確保しながら実施することを前提としております。そのため、本計画についても財政ビジョンの趣旨を踏まえ、持続可能な財政運営に配慮しながら推進していくものです。今後も、市民の皆様の信頼確保に努めつつ、適切に事業を進めてまいります。
9	横浜市財政ビジョンは無視ですか。 ★横浜市財政ビジョンは横浜市自身が無視して良い程度のものでしょうか。 ★★横浜市財政ビジョンを守ろうとする気持ちすら無いのですか。 ★★★横浜市財政ビジョンは御飾りにもなっていないのですか。	個別計画の中で横浜市財政ビジョンに関する記述は行っておりませんが、本市のすべての事業は、横浜市財政ビジョンに基づき、財政規律を確保しながら実施することを前提としております。そのため、本計画についても財政ビジョンの趣旨を踏まえ、持続可能な財政運営に配慮しながら推進していくものです。今後も、市民の皆様の信頼確保に努めつつ、適切に事業を進めてまいります。

10	グリーンエキスポを利用して税金を使うことを考えるのではなく、税金を使わないことを市民のために考えるのが仕事だと思います 市民目線があるのでしたら税金を使って赤字を増やすのではなく、税金を使わないことを市民のために考え行動してください	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。
11	使う税金を減らすことを真剣に真摯に考えて行動してほしい	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。
12	グリーンエキスポを使えば税金を無制限に使えるようになるのですか。子供達に赤字を増やして押し付けるような事はしないでください。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。
13	使う税金を減らすことを考えてください。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。

14	横浜市財政ビジョンのことは考えないで良い、その程度のものなのですか「横浜市財政ビジョン」は。	個別計画の中で横浜市財政ビジョンに関する記述は行っておりませんが、本市のすべての事業は、横浜市財政ビジョンに基づき、財政規律を確保しながら実施することを前提としております。そのため、本計画についても財政ビジョンの趣旨を踏まえ、持続可能な財政運営に配慮しながら推進していくものです。今後も、市民の皆様の信頼確保に努めつつ、適切に事業を進めてまいります。
15	横浜市財政ビジョンの事は無視して良いのですか。	個別計画の中で横浜市財政ビジョンに関する記述は行っておりませんが、本市のすべての事業は、横浜市財政ビジョンに基づき、財政規律を確保しながら実施することを前提としております。そのため、本計画についても財政ビジョンの趣旨を踏まえ、持続可能な財政運営に配慮しながら推進していくものです。今後も、市民の皆様の信頼確保に努めつつ、適切に事業を進めてまいります。
16	グリーンエキスポという言葉は、税金使いたい放題になる魔法の言葉ですか。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。
17	後付けでもグリーンエキスポを付け加えると税金が使いたい放題になるのですか。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。

18	本編 5 ページ 第 1 章 4(2)概要の「横浜市旭区若葉台付近に源を発し・・・」とされる帷子川の源流地については、若葉台付近ではなく上川井（町）と表現することが適すると考える。 〔理由等〕○ 若葉台地域に帷子川の源流地と推察できる水源を見つけることは出来ない。 ○ 国土地理院の地図などでは上川井町に最上流が表記され、またグーグルマップ等の検索で帷子川の源流は上川井町とされる。○ 帷子川は、上川井町内において「上川井町小川プロムナード」として整備された区間があり、上流には源流地として地下よりの湧水点が造成された箇所がある。旭区観光ガイドはここを源流として紹介している。○ 同地からさらに上流へと流れは続いているが、「水源用地」（横浜市水道局）としてフェンスが設けられているため遡上して源流地を確認することは出来ない。なお同用地の最上部、保土ヶ谷バイパスに接する法面部（上川井町亀甲山付近と推定）は河川の源流域としての風景を示しており同地に「横浜市流量計」が設置されていることから、この地の地下に水脈があることは確定的である。○本編 10 ページ 7. 周辺の自然環境において、「帷子川の上流、特に源流では本市が「緑の 10 大拠点」として位置付けているまとまった樹林地が残されており・・・」と記載されていることから、15 階建ての高層マンションが林立する若葉台を源流地の中心に捉えることは無理があり、前記水源用地のある上川井町を源流地とすることが、整合性があり理解し易いと捉えられる。	ご意見にあるとおり、上川井町に旭区観光ガイドの看板があり源流として紹介していますが、さらに上流に流水があることから若葉台付近を源流と記載しています。
19	多自然川づくりについて、「自然石を用いる」「瀬や淵を形成する」といった説明だけでは、最終的にどのような環境を目指しているのかが少しイメージしにくかったです。重視する環境機能をもう少し分かりやすく示していただけるとよいと思います。また、完成直後だけでなく、洪水後や数年後にどういう状態を想定しているのかも気になりました。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。

20	河川利用を進めるのであれば、利用者同士の調整についても考え方を示してほしいです。散歩、水遊び、イベント利用、自然観察などは、場合によっては両立しにくいこともあると思います。また、整備後の利用のされ方が変わることなど想定と異なる可能性もあるため、必要に応じてルールを見直せる仕組みも必要だと思います。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。
21	市民協働については、水辺愛護会への期待が大きい一方で、担い手不足や高齢化への対応も必要だと思います。大学や企業などと連携し、新しい参加者が入りやすい仕組みを考えてほしいです。また、市民協働を前提とする場合でも、市民活動が難しい場合に行政がどのように補完するのかという考え方は整理しておいた方がよいと思いました。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。
22	工事中の環境配慮についても、完成後と同じくらい重要だと思います。濁水や騒音、魚類移動への影響などへの配慮方針に加え、魚類の遡上期や鳥類繁殖期をできるだけ避ける施工時期の配慮も示していただきたいです。完成イメージだけでなく、「工事をどう進めるか」も環境計画の一部として考えてほしいと思いました。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の整備の参考といたします。これまで先進的に行ってきた取組のノウハウなども生かしながら、気候変動の影響や生物多様性の損失など近年の社会情勢や環境の変化を踏まえ、整備を進めていきます。
23	多自然型整備は魅力がありますが、その分、草刈りや植生管理、土砂撤去など継続的な維持管理が必要になると思います。整備費だけでなく、維持管理段階でどの程度の負担が想定されるのか、市民にも分かる形で示していただきたいです。「維持管理は今後検討する」という扱いだと、数年後に管理不足にならないか少し気になります。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。優先順位を見極めながら、必要な予算の確保に努め、適切な維持管理に取り組んでいきます。

24	「ネイチャーポジティブ」や「地域の誇りとなる川づくり」という理念について、最終的にどのような状態を目指しているのかを、もう少し具体的に示していただけるとよいと思います。在来種が増えている状態なのか、子どもが安全に利用できる状態なのか、地域イベントが定着している状態なのかによって、必要な整備や管理も変わってくると思います。帷子川としてどのような川を目指すのか、もう少し具体的にイメージできると、計画全体の方向性が伝わりやすいと感じました。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。
25	整備後の効果確認について、「モニタリングを実施する」という記載だけでは、後年になって実際に改善したのかが少し分かりにくい気がしました。誰が、どのくらいの頻度で、何を指標として確認するのかは、計画段階からある程度整理しておいた方がよいと思います。特に生物や植生は洪水や季節による変化も大きいため、単年度ではなく、長い期間で見えていく必要があると感じました。結果についても、実施したことだけで終わらず、市民が変化を確認できる形で公開されるとよいと思います。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。
26	生物多様性について、「確認種数」が増えたことだけを成果指標にすると、外来種が増えた場合でも改善したように見えてしまう場合があります。在来種の割合や、定着・再生産が確認できているかなど、生態系の質を見られる指標も必要ではないでしょうか。また、「アユが遡上する帷子川」という方向性は分かりやすい一方で、アユ以外の魚類や底生生物を含め、どのような生物環境を目指すのかも示していただけると理解しやすいと思いました。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。これまで先進的に行ってきた取組のノウハウなども生かしながら、気候変動の影響や生物多様性の損失など近年の社会情勢や環境の変化を踏まえ、さらには、横浜グリーンエクスポも好機と捉え、取組を進めていきます。

27	外来植物対策については、問題意識は書かれているものの、管理方法はやや抽象的に感じました。外来植物は一度広がると短期間で優占化することもあるため、「自然な定着を期待する」だけでは難しい部分もあると思います。重点的に管理する種や除去時期、管理主体など、基本的な方針は計画段階から示してほしいです。「詳細は維持管理段階で検討する」となると、結果的に後回しになってしまわないか少し気になりました。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。優先順位を見極めながら、必要な予算の確保に努め、適切な維持管理に取り組んでいきます。
28	親水空間は魅力的だと思いますが、安全面についてはもう少し具体的な記載があってもよいのではと感じました。利用者の注意だけに頼るのではなく、危険を事前に認識しやすい構造や表示を整備段階から考えておくことが重要だと思います。また、高齢者や子どもを含め、多様な利用者が連続的に利用しやすい動線や休憩場所についても配慮していただきたいです。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。利用者の安全性への配慮については、これまでも警報装置の設置や注意看板の設置など行ってきましたが引き続き、取組をしっかりと進めていきます。
29	水質については、BODなどの行政指標だけでなく、透視度や臭気、油膜の有無など、実際の利用感覚に近い情報もあると、分かりやすいと思います。詳細はこの計画では定めない部分は、詳細施工段階でも改めて市民意見を聞く機会があるとよいと思いました。計画ではなく詳細設計段階で内容の実が左右される場合もあるため、計画策定時だけで市民参加が終わらない形が望ましいと感じます。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。
30	小学生ワークショップで、拠点整備としてAEDの設置案が出ている。「河川管理行政としての対応が困難」と分類されているが、周辺公共施設等に設置されているAEDの位置を案内することは、比較的实现しやすい取組ではないだろうか例えば高山橋拠点周辺では、近隣に土木事務所が存在することから、土木事務所にAEDを設置の上そこへ誘導するように看板に記すなどして取り込めるのではないかと	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の整備の際に参考といたします。

31	河川環境は整備後も流況や植生遷移、生物相の変化によって状況が変化するため、「整備して終わり」ではなく、モニタリング結果を踏まえて維持管理や整備内容を見直していく順応的管理の考え方を明記した方がよい。特に、魚道、植生管理、親水施設周辺の環境形成などは、継続的な検証と改善を前提とした順応的な管理が重要である。第1章7「周辺の自然環境」では、流域の自然環境について記載されているが、「横浜みどりアップ計画」等に基づく周辺緑地との連続性向上の取組についても触れることで、河川単体ではなく流域全体として環境形成を進める考え方が分かりやすくなると思われる。近年、帷子川の計画区域内で水難死亡事故も発生している。親水空間の整備を進めるに当たっては、利用促進だけでなく、安全対策や危険箇所の把握も重要である。実際には難しいかもしれないが、再発防止の考え方をどのように本計画へ反映しているのか教えて頂きたい。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。 利用者の安全性への配慮については、ワークショップの小学校の意見から「生物」「景観」「利用」「親水」「安全」の5つの重要な視点が浮かび上がっており、この内「安全」対策として記載しています。引き続き、取組をしっかりと進めていきます。
32	各拠点の整備内容は、第三章の6の各区分について「なお詳細については、(中略)、整備のタイミングで検討する。」と記述されているなど、今後の整備設計段階で具体化される部分も多いと思われる。この部分については現段階よりも整備のタイミングでの意見反映の方がより重要だと思う。そのため、各区分の実施設計や整備内容の詳細化に当たっては、改めて地域住民や利用者から意見を募集する機会を設ける旨を書き加えてほしい。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。
33	河川環境整備の検討の区分②③④⑤について、(工)において「なお詳細については、(中略)、整備のタイミングで検討する。」とあるが、個別整備段階においても地域住民や利用者の意見を聴取し、整備内容へ反映する仕組みを明記してほしい。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。

34	表 3.9 において、河道内の死水域等への植樹を想定しているように読めるが、河道内への木本植物の定着は、流路の固定化や維持管理作業の阻害につながるほか、見通し悪化や利用空間の閉塞化を招く可能性がある。そのため、河道内では、洪水時の流下阻害や維持管理性にも配慮しつつ、抽水植物帯等による環境形成を重視する考え方を、本文または「環境整備時のポイント」に明記した方がよい。 区間③の陸域で「管理用通路では、川側の見通しをよくして、(以下略)」とあるが、このためにもいくつかの木本の伐採が必要なのではないか。 表 3.9「環境整備時のポイント」には、「抽水植物」に関する項目を追加し、河道内に抽水性植物を導入・誘導する際の考え方を整理した方がよい。また、表 1.11 に記載のある通り、ヨシやガマが既に確認されている。河川内や周辺区域に成立している在来群落の一部移植・分株等を活用する考え方を取り入れてはどうか。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。
35	6.(2)イ(イ)等について、「落差工整備は、アユをはじめとする魚類等の移動の連続性を確保する。」とあるが、魚類等の種類によって必要な流速・水深・落差条件は異なるため、想定する対象種を一定程度示してほしい。また、魚道・落差工については、対象種の特性や流況に応じ、複数形式を比較検討する旨を記載してほしい。 図 3.7 等において、「水際の凹みに土砂が堆積することで植生を期待」とあるが、自然遷移に完全に委ねた場合、勢いのある外来種や単調な群落など、ほかの生物の生息場所として適さない群落が形成される可能性がある。そのため、在来植生の誘導や地域由来植生になるよう配慮する旨を記載してほしい。例えば、帷子川内の別区域や周辺公園由来の植生活用なども検討してほしい。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。

36	本計画は方向性や理念の記述が中心であり、進捗や達成状況を評価するための定量的指標が不足しているように感じる。近年は他自治体の計画でも、数値目標による計画が普通となっている。本年4月に最終改正された環境省の「自然環境整備計画作成要領」でも、数値目標を設定するように定めている。これには、自然環境のモニタリングだけでなく、利用者のアンケート調査など定性的な指標の定量化についても書かれている。例えば、アユ確認地点数、魚道改善箇所数、水際植生面積、市民参加回数、水質指標、利用者の満足度等について、数値目標や評価指標を設定することを検討してほしい。 本計画については、整備内容だけでなく、その後の維持管理や効果検証も重要であることから、一定期間ごとにモニタリング結果や整備状況を整理した報告書を作成・公表する仕組みを導入してほしい。例えば5年ごとの報告書によるフォローアップを行うことで、計画の継続性や透明性の向上につながると思われる。アユの遡上状況については、現在の調査は簡易的な確認が中心であるように見える。本計画の重要な指標の一つである以上、簡易な確認に留まらず、専門家を交えた継続的かつ検証可能な調査体制を構築することが望ましい。特に、魚道整備との関係性を評価できるよう、調査地点・頻度・手法を整理し、継続的なデータ蓄積を行う旨を記載してほしい。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。優先順位を見極めながら、必要な予算の確保に努め、適切な維持管理に取り組んでいきます。
37	「GREEN×EXPO 2027」という言葉を抽象的に使うことによって、税金を多く使おうとするのではなく、税金を使う額を減らすことを考えるのが仕事ではありませんか。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。

38	高山橋拠点の「水に親しむゾーン」は、親水性の向上という点は良いが、水が滞留して水質悪化や土砂堆積などが進行しないか心配だ。上流側の反対岸に砂州・寄洲を作って「水に親しむゾーン」方向に流れが向くようにするなどしてはどうか。 二俣川合流点については、計画策定前（去年）から工事が進行している。本計画との関係性や、どの段階まで内容が確定しているのかが読み取りにくい。そのため、既に実施済み・実施中の工事と、本計画で位置付ける環境整備との関係について説明を補足し、市民が計画全体の流れを理解できるよう記述を整理した方がよい。 二俣川合流点では、抽水植物の場所を想定しているようだが、どのような植物群落を目指すのか、また、その定着・維持をどのように行うのかが現時点では不明瞭だ。抽水植物帯は、導入種の選定や管理方針について、本計画に考え方を記載することが望ましい。また、現段階で詳細検討が難しい場合でも、個別拠点の実施設計や整備内容の具体化に当たって、改めて地域住民や利用者から意見を募集する旨を明記していただきたい。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。
39	グリーンエキスポを抽象的にも使うと予算を取り放題ですか。 予算をふんだくるために抽象的に「グリーンエキスポ」という言葉を使っているのでしょうか。 「グリーンエキスポ」という言葉を使えば予算を確保できる魔法の言葉ですか	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。
40	区間⑤における「水辺の植生」について、どのような環境形成を想定しているのかが読み取りにくい。抽水植物群落、草地、水際低木林等、目指す水辺環境の方向性を一定程度示してほしい。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。

41	帷子川におけるアユの遡上環境の改善は、本市施行区間のみでは完結せず、下流域を管理する神奈川県との連携が不可欠である。したがって、本計画においても、県管理区間を含めた連続的な魚類移動環境の確保を図る旨を本文に位置付けてほしい。また、「アユが遡上する帷子川アクションプラン」では、市民協働やモニタリングを含む全体的な推進体制が整理されていることから、現在実施している県との協議・調整・役割分担等がある場合は、その内容を追記し、広域的な取組であることが分かる構成とすることが望ましいだろう。魚道整備について、計画案では階段式魚道を前提とした記述が見られるが、魚類の移動特性や河床勾配、流況等によって適した形式は異なる。したがって、特定形式を前提化するのではなく、対象種や維持管理性を踏まえ、「アユが遡上する帷子川アクションプラン」の図 5-6 に記載されている扇型スリット付階段式魚道や棚田型魚道を含む複数形式を比較検討する考え方を記載した方がよい。 アユの遡上目標地点とモニタリング地点の対応関係が不正確である。目標地点までの到達状況を適切に評価するためには、目標地点と調査地点を可能な限り一致させ、到達確認ができる調査体制を構築する必要がある。特に、K2～K3 間や今宿南橋付近など、中間的な遡上状況を把握できる地点を追加し、連続的な遡上確認が行えるようにする必要がある。 なお、恒久的な観測機器の設置が難しい場合でも、土木事務所前等での定期的な目視調査を導入するなど、簡易な手法を含めて検討する旨を記載してほしい。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後整備にあたっては、比較検討を行っていきます。
----	--	---

42	公園橋付近、今宿東橋付近、今宿南橋上流付近（特に今宿南橋～御殿橋）では、河道内に大きな木本が複数存在する。これらは流路固定化、河川見通しの低下、維持管理・整備作業への支障等につながる可能性があるため、治水・環境・維持管理の観点から管理方針を整理してほしい。 類似の意見として「横浜市河川水辺拠点の保全・創出に関する指針（素案）に関する市民意見募集の実施結果」の包括・賛同の76番で適切な維持管理に取り組むと書いてあり、また「横浜市河川維持管理計画（素案）に関する市民意見募集」の反映の4番でも「本計画の策定を契機に、維持管理に必要な予算の確保に努め、洪水を安全に流下させる断面の確保を前提に、生物多様性や河川景観等に配慮しながら、適切な維持管理に取り組んでいきます。」とあるため、帷子川でも同様の観点から、計画的な維持管理に取り組むよう記載してほしい。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。優先順位を見極めながら、必要な予算の確保に努め、適切な維持管理に取り組んでいきます。
43	p41「身近な里山の水辺」という表現について、対象区間には住宅地や道路等の市街地景観が広がる箇所も多い。 p51の現況にも「旧河道跡が残る。土地利用は畑地・緑地・空地・住宅地が混在」と書かれており、一般手的な里山環境とは必ずしも一致していないように感じられる。区間全体を「里山」と表現すると、現況土地利用や景観実態との関係が分かりにくくなる可能性がある。そのため、「地域に調和した水辺空間」など、現況環境との整合性がより伝わりやすい表現への修正を検討してほしい。 市民参加型の計画として、専門知識を持たない市民でも計画内容や整備意図を理解できるよう、図表・用語・構成の分かりやすさを高めてほしい。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。

44	(小学生ワークショップの意見も踏まえた) 「魚の放流」については、継続依存による持続可能性に反する懸念や遺伝子攪乱につながる可能性がある。そのため、河川環境の改善を基本とし、放流は必要性・効果・遺伝的影響等を十分検討した上で限定的に扱うのが望ましい。現状もその方向性であると思われるが、特にアユ等については、魚道整備や生息環境改善を基本とする考え方を明記してほしい。放流実施時には対象種・由来・目的・期間・効果検証を整理し、継続放流を前提としない考え方を整理し明記してほしい。	ご指摘いただいた点は、大切な視点として受け止めています。今後の検討の参考といたします。
45	「GREEN×EXPO 2027」という言葉を抽象的に使うことによって、税金を多く使おうとするのではなく、税金を使う額を減らすことを考えるのが仕事ではありませんか。 「GREEN×EXPO 2027」のことが具体的に何も書いてありません。税金を多く使うために後付けしたとしか思えません。「GREEN×EXPO 2027」という言葉されれば具体的な中身が無くても税金を多く使えるようになるのですか。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。
46	グリーンエキスポを抽象的にも使うと予算を取り放題ですか。 予算をふんだくるために抽象的に「グリーンエキスポ」という言葉を使っているとしか思えません。「グリーンエキスポ」は予算を確保するための魔法の言葉ですか。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。
47	グリーンエキスポという言葉を入れられれば、予算貰いたい放題貰えるのですね。 支出を減らす気持ちは全く無いのですか。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。

48	グリーンエキスポを理由にすれば予算が好きなだけ言い値で貰えるのですが。支出を減らす意識は一切無いのですね。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。
49	38 ページ GREEN×EXP02027 と帷子川 2027 年 3 月から開催される GREEN×EXP02027 の展示においては、生物多様性や自然との共生の重要性を世界に向けて発信するとともに、これらを保全していくことの重要性を再確認・再認識する方針が示されている。 なお、GREEN×EXP02027 の会場は、帷子川の源流域が含まれている。2027 年 3 月から開催される GREEN×EXP02027 の展示においては、生物多様性や自然との共生の重要性を世界に向けて発信するとともに、これらを保全していくことの重要性を再確認・再認識する方針が示されているのでしたら、既に生物多様性や自然との共生のされている川を選べば、多額の税金を使わないで良くなります。GREEN×EXP02027 の会場に近い川を選べば良い。帷子川の整備計画が先にあり、GREEN×EXP02027 は税金を「ふんだくる」理由にしているとしか言えない。 「帷子川河川環境整備計画」に後付けで GREEN×EXP02027 を理由に入れて、税金を使いたい放題使おうと考えたとしか思いえない。GREEN×EXP02027 を少しでも理由入れれば横浜市は限界なく無制限に税金を使えるのですか。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。
50	背景に書いてある目指す状態と、目的が一致していないと思います。	河川空間を活用して地域のコミュニティ形成やこども成長の場であるとともに、憩いの場として市民生活の質の向上と環境との共生の実現を目指しています。

51	38 ページ GREEN×EXP02027 と帷子川 2027 年 3 月から開催される GREEN×EXP02027 の展示においては、生物多様性や自然との共生の重要性を世界に向けて発信するとともに、これらを保全していくことの重要性を再確認・再認識する方針が示されている。 なお、GREEN×EXP02027 の会場は、帷子川の源流域が含まれている。 2027 年 3 月から開催される GREEN×EXP02027 の展示においては、生物多様性や自然との共生の重要性を世界に向けて発信するとともに、これらを保全していくことの重要性を再確認・再認識する方針が示されているのでしたら、既に生物多様性や自然との共生のされている川を選べば、多額の税金を使わないで良くなります。GREEN×EXP02027 の会場に近い川を選べば良い。 帷子川の整備計画が先にあり、GREEN×EXP02027 は税金を「ふんだくる」理由にしていると言えない。 GREEN×EXP02027 を少しでも理由入れれば横浜市は限界なく無制限に税金を使えるのですか。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。
52	帷子川に隣接する寺社仏閣などには、長源寺、清来寺、鶴ヶ峰稲荷神社があり、歴史を感じることができるから、なぜ整備計画に繋がるのか理解できない。隣接する場所に寺社仏閣があれば、どのような整備計画でも行えるのですか。税金の無駄遣いと思えない。	帷子川周辺の環境要素として記載しております。神社・仏閣があるため整備を実施するものではありません。
53	「※WELL-BEING な川づくり 「人」が健康で幸福感を感じることができ」なぜ川で「人」が健康を感じることができるのか誰にでも理解できるように具体的に説明してください。川で健康を感じることが出来ない私が変わりますか。	河川水辺環境の保全・創出を通じて、水辺に親しみ、生き物など自然と触れ合い、散策やレクリエーション、地域との交流や環境学習などを通じて、市民一人ひとりが現在も将来も、自然や社会とのつながりを感じながら、健康で、心豊かに暮らしていける、このような、市民生活の「質」の向上と、人と自然が互いに支えあう「環境との共生」の実現に貢献していきます。

54	GREEN×EXPO 2027（横浜グリーンエキスポ）の開催する区でもないのに、地域のシンボルリバーとなる川づくりをすることは、本来の目的は「帷子川河川環境整備計画」であり、GREEN×EXPO 2027（横浜グリーンエキスポ）の開催は税金を好き勝手使う理由としていない。目的より、「GREEN×EXPO 2027（横浜グリーンエキスポ）の開催を大きな契機ととらえ、これまで以上に良好な帷子川の河川水辺空間を保全・創出し、地域のシンボルリバーとなる川づくりを進めるため「帷子川河川環境整備計画」を策定する。」税金の支出を減らすこと意識が欠缺していると思えない。赤字を増やして借金を増やして、その負担を子供達に背負わせることは、子供達のためにはならない。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。
55	GREEN×EXPO 2027（横浜グリーンエキスポ）の開催を大きな契機ととらえ、税金を使いたいだけ際限なく使おうと考えているように思える。背景に書いてある目指す状態と、目的も一致していないと思えない。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。
56	P40 コンセプト 景観 緑豊かな水辺環境をつくることには賛成するが、数十年後のことまで考えて木を植えてほしい。街路樹や公園の木は1本1本の距離が近すぎると思う。できあがった時の見栄えではなく、木が成長した後の姿を考えて工事をしてほしい。	将来の見え方を視野に入れて整備を実施していきます。
57	GREEN×EXPO 2027（横浜グリーンエキスポ）の開催といえば、税金を使いたいだけ使えるのですか。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。

58	第1章流域及び河川の概要及び第3章 河川環境整備等に関して 帷子川には2002年にアゴヒゲアザラシのタマちゃんが来て帷子川護岸に住み大人気となり、横浜市西区役所より帷子川護岸を住所地に特別住民票が交付されました。大都会の河川にアザラシが住むことは大変珍しく、帷子川ひいては横浜市の歴史にも重要な出来事です。帷子川河川環境整備計画を作成するにあたり、計画内にてかつてタマちゃんが帷子川に住んでいた事やその様子を紹介するとともに、帷子川の広報や現地での案内にタマちゃんを活用すれば市民から親しまれ、かつ帷子川が自然とつながることをアピールできると思います。計画内にタマちゃんが帷子川に来て住んでいた事を記載し、現地の案内や広報等にタマちゃんを起用してください。	貴重なご意見の一つとして今後の河川事業のプロモーション活動の参考とさせていただきます。
59	GREEN×EXPO 2027（横浜グリーンエキスポ）の開催を大きな契機ととらえ、これまで以上に良好な帷子川の河川水辺空間を保全・創出しとありますが、何で帷子川何ですか。帷子川の理由を明確に説明してください。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。
60	支出を減らしてください。グリーンエキスポにこじつけて、何でもかんでも整備しようとするのは乱暴だと思います。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。

61	グリーンエキスポに関連付ければ税金使いたい放題ですか。赤字を増やすことは子どもたちのためになりません。税金の支出を減らすことは何も考えないのですか。	本計画は、横浜グリーンエキスポを契機ととらえ帷子川の河川水辺空間をより良好に保全・創造し、地域の誇りとなる存在へと育てるため策定しているものです。事業の実施にあたっては、限られた財源の中で優先順位を見極めながら、整備を行います。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政規律の維持に十分配慮しながら、将来世代に過度な負担を残さないよう取り組みます。
----	--	---

■対応区分：その他

NO	意見の概要	本市の考え方
1	上瀬谷の開発を今からでも止めるべきです。旧上瀬谷通信施設は、日本でまれな分水界で、相模武蔵野の国境です。あそこを、花博のためテーマパークのために高低差を無くすことは、帷子川水系にも影響があると考えます。開発は止めるべきです。どうしても自然破壊の開発が止められないのなら、この先の帷子川流量を、毎月計測し公表をお願いします。上瀬谷の開発が、帷子川の流量減少につながらないことを祈ります。	上瀬谷の開発につきましては、下水道河川局の管轄外になります。所管部署に申し伝えます。
2	意見募集の期間が短すぎると思う。しかも意見募集のページにすら掲載されていない。意見を言われたくないから意図的に隠していると思う。そのような状態で何故意見募集をしているのですか。市民の意見を聴く事は考えずに意見募集をしたという既成事実だけが欲しいのですか。	帷子川は旭区内を流れる川のため、旭区区連会及び連合の集会の際に個別にご説明を行っておりますので、当該期間を設定しています。
3	意見募集期間短すぎませんか。	帷子川は旭区内を流れる川のため、旭区区連会及び連合の集会の際に個別にご説明を行っておりますので、当該期間を設定しています。

4	意見募集のホームページに公表されず意見募集の期間が著しく極端に短いのは、意見を言われたくないからとしか思えません。意見を聞きたくないから意見募集のホームページに公表しないで意見募集の期間も短いとしか思いません。市民等の意見を聞きたくなく意見を言われたく無いとしか思えません。市民等のことを考えているのでしたら意見募集のホームページに公表して、意見募集の期間も長くする必要があります。市民等の事を考えているとは思えません。不誠実です。	帷子川は旭区内を流れる川のため、旭区区連会及び連合の集会の際に個別にご説明を行っておりますので、当該期間を設定しています。
5	意見募集のホームページに公表されず意見募集の期間が著しく極端に短いのは、意見を言われたくないからとしか思えません。意見を聞きたくないから意見募集のホームページに公表しないで意見募集の期間も短いとしか思いません。市民等の意見を聞きたくなく意見を言われたく無いとしか思えません。市民等のことを考えているのでしたら意見募集のホームページに公表して、意見募集の期間も長くする必要があります。	帷子川は旭区内を流れる川のため、旭区区連会及び連合の集会の際に個別にご説明を行っておりますので、当該期間を設定しています。
6	意見募集のホームページに公表されず意見募集の期間が著しく極端に短いのは、意見を言われたくないからとしか思えません。意見を聞きたくないから意見募集のホームページに公表しないで意見募集の期間も短いとしか思いません。市民等の意見を聞きたくなく意見を言われたく無いとしか思えません。市民等のことを考えていないと思います。	帷子川は旭区内を流れる川のため、旭区区連会及び連合の集会の際に個別にご説明を行っておりますので、当該期間を設定しています。
7	意見募集のホームページに公表されず意見募集の期間が著しく極端に短いのは、意見を言われたくないからとしか思えません。意見を聞きたく無いなら何故意見募集をされているのですか。	帷子川は旭区内を流れる川のため、旭区区連会及び連合の集会の際に個別にご説明を行っておりますので、当該期間を設定しています。
8	意見募集のホームページに公表されていないのは、意見を言われたくないからとしか思えません。	帷子川は旭区内を流れる川のため、旭区区連会及び連合の集会の際に個別にご説明を行っておりますので、当該期間を設定しています。

9	意見募集の期間が著しく短いです。	帷子川は旭区内を流れる川のため、旭区区連会及び連合の集会の際に個別にご説明を行っておりますので、当該期間を設定しています。
10	募集期間みぢか！！！市民のこと考えているとは思えません。	帷子川は旭区内を流れる川のため、旭区区連会及び連合の集会の際に個別にご説明を行っておりますので、当該期間を設定しています。
11	意見募集の期間が極端に短いと思います。 意見募集の期間が短い理由を知りたいです。	帷子川は旭区内を流れる川のため、旭区区連会及び連合の集会の際に個別にご説明を行っておりますので、当該期間を設定しています。
12	募集期間が他の意見募集と比較して、極端に短いと思います。	帷子川は旭区内を流れる川のため、旭区区連会及び連合の集会の際に個別にご説明を行っておりますので、当該期間を設定しています。
13	横浜市の意見募集のページに掲載されていないのは、意見を出してほしくないからですか。	帷子川は旭区内を流れる川のため、旭区区連会及び連合の集会の際に個別にご説明を行っておりますので、当該期間を設定しています。